第16回「学校事務の共同実施」に関するグループ長への実態調査

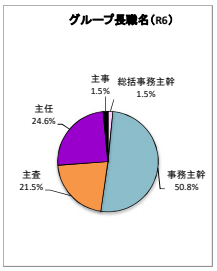
令和6年8月実施

設問1・2　市町村別内訳

支部No.	市町村名	H23 回答G数	H24 回答G数	H26 回答G数	H27 回答G数	H28 回答G数	H29 回答G数	H30 回答G数	R1 回答G数	R2 回答G数	R3 回答G数	R4 回答G数	R5 回答G数	R6 回答G数
1	上越市	12	12	12	12	12	10	10	10	10	10	10	9	**10**
2	妙高市	2	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	**1**
3	糸魚川市	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	2	**1**
4	長岡市	12	12	12	12	12	12	12	10	10	10	10	9	**9**
	出雲崎町	1	1											
5	三条市	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	**4**
6	加茂市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	**1**
	田上町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	**1**
7	見附市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	**1**
8	柏崎市	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	**5**
	刈羽村	1	1											
9	小千谷市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	**2**
10	魚沼市	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	**2**
11	南魚沼市	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	**4**
	湯沢町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
12	十日町市	5	5	5	6	6	6	6	6	4	4	4	4	**4**
	津南町	1	1	1										
13	燕市	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2	**3**
	弥彦村	1		1										
14	佐渡市	8	8	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	**5**
15	五泉市	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	**2**
	阿賀町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	**1**
16	村上市	3	3	4	5	5	6	6	6	5	4	4	4	**3**
	関川村													
17	新発田市	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	**4**
	聖籠町	1	1											
18	阿賀野市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	**1**
19	胎内市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	**1**
	新潟市	23	23	18	18									
	合計	112	111	101	100	82	79	78	77	74	72	71	65	**65**

設問3　グループ長職名

		総括事務主幹	事務主幹	主査	主任	主事	計
H23	人数		45	58	9	0	112
	%	0.0%	40.2%	51.8%	8.0%	0.0%	
H24	人数		51	53	7	0	111
	%	0.0%	45.9%	47.7%	6.3%	0.0%	
H26	人数	3	45	47	5	1	101
	%	3.0%	44.6%	46.5%	5.0%	1.0%	
H27	人数	3	54	37	4	2	100
	%	3.0%	54.0%	37.0%	4.0%	2.0%	
H28	人数	2	44	27	8	1	82
	%	2.4%	53.7%	32.9%	9.8%	1.2%	
H29	人数	1	45	25	6	2	82
	%	1.2%	54.9%	30.5%	7.3%	2.4%	
H30	人数	3	38	29	7	1	78
	%	3.8%	48.7%	37.2%	9.0%	1.3%	
R1	人数	2	35	27	10	3	77
	%	2.6%	45.5%	35.1%	13.0%	3.9%	
R2	人数	2	35	22	12	3	74
	%	2.7%	47.3%	29.7%	16.2%	4.1%	
R3	人数	2	32	23	10	5	72
	%	2.8%	44.4%	31.9%	13.9%	6.9%	
R4	人数	2	29	23	12	5	71
	%	2.8%	40.8%	32.4%	16.9%	7.0%	
R5	人数	2	25	22	14	2	65
	%	3.1%	38.5%	33.8%	21.5%	3.1%	
R6	**人数**	**1**	**33**	**14**	**16**	**1**	**65**
	%	**1.5%**	**50.8%**	**21.5%**	**24.6%**	**1.5%**	



設問4　構成メンバー

◇事務主幹のいるグループ

		いる	いない	計
H23	グループ数	45	66	111
	%	40.5%	59.5%	
H24	グループ数	53	58	111
	%	47.7%	52.3%	
H26	グループ数	48	53	101
	%	48.0%	53.0%	
H27	グループ数	57	43	100
	%	57.0%	43.0%	
H28	グループ数	52	30	82
	%	63.4%	36.6%	
H29	グループ数	50	29	79
	%	63.3%	36.7%	
H30	グループ数	44	34	82
	%	56.4%	43.6%	
R1	グループ数	42	35	77
	%	54.5%	45.5%	
R2	グループ数	44	30	78
	%	59.5%	40.5%	
R3	グループ数	38	34	72
	%	52.8%	47.2%	
R4	グループ数	34	37	71
	%	47.9%	52.1%	
R5	グループ数	31	34	65
	%	47.7%	52.3%	
R6	**グループ数**	**33**	**32**	**65**
	%	**50.8%**	**49.2%**	

※H26以降は総括事務主幹又は事務主幹がいるグループ

◇主任以下のみのグループ

	グループ数	%
H24	2	2.0%
H26	5	5.0%
H27	3	3.7%
H28	7	8.5%
H29	5	6.3%
H30	6	7.7%
R1	10	13.0%
R2	9	12.2%
R3	11	15.3%
R4	12	16.7%
R5	12	18.5%
R6	**12**	**18.5%**

◇事務員のいるグループ

	グループ数	%	複数いるG	%
H23	47	42.3%	23	20.7%
H24	53	52.5%	25	24.8%
H26	36	36.0%	19	19.0%
H27	41	50.0%	21	25.6%
H28	34	41.5%	5	6.1%
H29	34	43.0%	8	10.1%
H30	34	43.6%	6	7.7%
R1	32	41.6%	4	5.2%
R2	21	28.4%	5	6.8%
R3	29	40.3%	7	9.7%
R4	33	46.5%	7	9.9%
R5	27	41.5%	9	13.8%
R6	**24**	**36.9%**	**4**	**6.2%**

◇経験年数１～３年目の事務職員がいるグループ

	グループ数	%	複数いるG	%
H27	66	66.0%	34	34.0%
H28	47	57.3%	19	23.2%
H29	43	54.4%	21	26.6%
H30	45	57.7%	18	23.1%
R1	43	55.8%	18	23.4%
R2	48	64.9%	19	25.7%
R3	39	54.2%	13	18.1%
R4	43	60.6%	15	21.1%
R5	31	47.7%	14	21.5%
R6	**31**	**47.7%**	**14**	**21.5%**

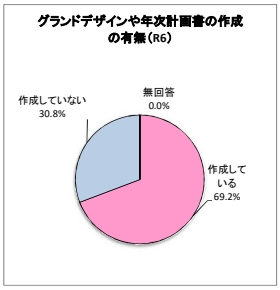
設問5　共同実施において、業務改善に取り組む上で、学校事務職員以外の職種や組織と連携して行ったことはありますか。（記述）

共同実施グループが1つの中学校区で構成されているので、中学校区校長会、中学校区教頭会と連携して進めている。小学校の合同修学旅行、交流時のバス予約など、共同実施の場でまとめたりすることもあった。
業務改善に直結しているかわからないが、グループ内の教頭先生方との研修会を実施し、事務処理の確認を行っている。
校長とのグループ運営委員会（年2回）、教頭との懇談会・研修会（年１回）を行っている。
教育委員会と学校事務の手引きの修正作業を共同で行っている
教頭会と各種業務内容について負担軽減のため協議したと聞いている
教頭先生との合同研修会
教育委員会との連携
グループ内の各校教頭と「ICTを活用して業務改善」について合同研修を行った。実践発表を聞いて、各校で改善に向けて動き出した学校もあるようだ。
教頭と合同で財務（教材選定や保護者負担軽減）、日頃の業務全般に関する課題に関する研修会の実施
教頭職と管理事務部経営計画について課題の共有や改善策の検討を行った
教頭・教頭会、学校財務について(保護者負担軽減の観点から教育活動や購入計画を見直しているかについて情報交換)、学校規模でグループを作り共通の話題について情報交換を行うことで、自校での取組みを振り返り、参考となる事例を持ち帰ることができた。
共同実施推進協議会において、業務用PCに関わる環境改善を提案したところ、早速改善に向けて対応してくれた。
校長・教頭　運営委員会を年2回実施。 定例業務やその年度のグループの課題や重点事項を共通理解しながら進めている
教育委員会
各職種の方と一緒に推進協議会を行い情報共有をして連携している。
市全体として：①毎年度学校教育課職員と協議会を行い、双方の業務の実態や課題を共有し、改善につなげていくためのきっかけづくりをしている。②予算要求前に専門チーム活動において、市教委担当係長等にも同席いただき、予算要求手続き等の留意点や取組方法について検討し、その結果を反映した依頼文書が発出される。③グループ連絡会議において、協議会後の秋に担当管理も交えた拡大連絡会議を開催し、次年度に向けた改善方策を検討している。 グループとして：グループ運営委員会のしくみを活用して、教頭と事務職員とで通知の読み合わせをしたり、テーマに基づくグループワークをしたりして、学校課題の解決等につなげている。
・校長・事務職員連絡会…共同実施の重点取組や業務内容等について共通理解を図ることで、共同実施を円滑に進めることができる。 ・教頭会との連絡会…共同実施の重点取組や業務内容等について共通理解を図ることで、共同実施を円滑に進めることができる。 ・教頭会との合同研修会…学校財務の健全化、各校の課題解決につながる内容で研修を行い、教頭と連携した課題解決の取組、業務改善が推進される。 ・市教委との連絡会…学校事務の効率化・標準化ににについて意見交換を行うことで、事務処理の改善等につながる。
教頭先生との情報交換
グループ運営委員会や教頭との合同研修会で業務改善に関わって話題提供し、協議した。
教頭会との合同研修による、業務改善の情報交換・提案
教頭・教頭事務合同研修会・リスク管理・組織的なリスク管理に取り組むためには、教頭先生と事務職員の効果的な役割分担による連携が重要であることや具体的な連携のあり方について話し合うことができた。
毎年、エリア全体で教頭会との合同研修会を開き、その後、各グループ運営委員会でその内容について取り上げ理解を深めている。内容は、施設管理、働き方改革など。今年度はさらに教育委員会との懇談会を開き、業務改善について話し合う予定。
市教委との協議会　　財務・・・備品金額の引き上げ 情報伝達方法、校務支援システムの活用方法 教頭との連絡会議　　休暇制度の確認 申請システムの確認
教頭との拡大グループ運営委員会、財務に関する研修、他校の実態や取組を共有することで自校の課題解決に向けての一助になった。
連携職種：教頭　取組み：懇談会を開催

校長、教頭、市教委、運営委員会で活動についての理解を得る。教頭連絡会では教頭と ともに課題について協議する。
地域事務室内の教頭（合同研修の実施）
教頭先生との研修会・・・地区別研修会での指導内容の共有や休暇制度についての事例研修
市教委とグループ連絡会議の懇談会を年１回実施し、市に関係する業務の改善について検討している。 グループで教頭との懇談会を年１回実施し、共通の課題について研修や情報交換を行い、改善につなげている。
管理職と事務主任の役割を共通理解するだけではなく，校内での好事例を共有した。管理事務部の課題改善することが具体化され，連携が強化され更なる取組に繋がった。
教頭との懇談会の実施
各校校長とのグループ運営委員会（共同実施の運営・経営について）、各校教頭との事務職員合同研修会の開催（共同実施に対する共通理解、困り感の解消）、グループ内職員へ管理事務部アンケート（一斉同一アンケートの実施、次年度の管理事務部の観点・改善点の確認）
教頭先生との合同研修会
校長・教頭へ「業務改善となるような服務・勤務事務について」の資料提供を行っている。
・市教育委員会事務局（係長・主任・主事等）と毎年9月頃意見交換会を実施している。学校現場の様子と課題などを伝えながら、市教委にもメリットのある改善を模索し、実行している。市へ直接提出となった就学援助等、申請書類の提出状況を学校に知らせてもらい、保護者への対応の円滑化を図った。また、市教委取りまとめの教材備品購入の調査時期を早めてもらい、学習環境整備に効果を上げている。 ・意見交換会では解決が難しい課題や要望事項を、市校長会を通して伝えている。 ・校長会、市教育委員会（教育部長、学校教育課長、各担当係長）と学校徴収金にかかわる現状や課題を機会をとらえて共有している。各金融機関から手数料値上げやデータ提出方法などの提案等を市教育委員会とともに説明を受ける場を設けている。
市教育委員会との連携　取組中　預り金未納対策ガイドラインの制定、転出入マニュアルの改訂（校務支援システム導入年のため関係個所の修正）
教頭先生と行う第２回運営員会を活用し、各校で業務改善を進めるうえで困っていることを持ち寄り、グループワークによる「まじめな雑談（情報交換）」を行った。どの学校も同様に困っていることや不明な点は市教委に照会し、記録配付時に情報を共有した。
各校の管理事務部の評価を共同実施で行っている
教頭・事務職員合同研修会で、校支援の文書受付・発送の仕方について研修を行った。教頭先生が早速校支援を通して発送してくださり、事務職員の受付処理の負担が減った。
市教委事務局との連携、教頭との研修・懇談会開催

設問6　あなたのグループでは共同実施の取組に対しての見通しやビジョンを共有するために、グランドデザインや年次計画書を作成していますか。（選択）

		作成している	作成していない	無回答	計
R5	グループ数	44	21	0	65
	%	67.7%	32.3%	0.0%	
R6	**グループ数**	**45**	**20**	**0**	**65**
	%	**69.2%**	**30.8%**	**0.0%**	



設問7　共同実施グループの業務内容の中で効果があった（または見込まれる）取組の内容と成果がありましたら、具体的にお聞かせください。（前年度（R4.4.1～）から現在）（記述）

今年度は新採用事務職員が配置されたため、共同実施の場を基幹校から配置校へ変更。ほぼ毎週支援に入ることができるため、事務職員の業務以外でも先生方から相談されることもあり、新採用職員と一緒に進めれれて良い。また、小規模校が多く出るのが難しい時もあるため、共同実施日以外の訪問支援が少なくて済むことも良かった。
5G（ゴーゴー）月間と称して、グループの各校職員に気を付けていただきたい事務処理内容を連絡している。（チラシ作成・校務支援システム回覧板で周知）
若手事務職員の主体性を上げるため、話しやすい環境を作っている。
事務職員未配置校支援　月に一度グループ員が訪問して諸帳簿の照合や一斉確認等の業務の支援を行い事務処理の平準化が図られた。
預り金未納者対応マニュアルの発出
グループ内のすべての学校へ学校訪問を自主的に計画することによって、各校課題の把握と具体的な業務改善につなげることができた。
財務研修について、自校の取り組んだ資料を持ち寄り、情報交換を行った。どのように研修したら良いかわからない事務職員やマンネリ化を防ぐためにも、他校の資料を共有し、情報交換できることは良かった。
市外の共同実施グループとの合同共同実施（オンライン交流会）この後R6.11月に開催予定です。 市内共同実施グループ合同のオンライン研修会 グループ内に今年度末で統廃合になる学校があるので共同実施で支援計画を立てて支援実施しています。
他校への学校訪問
ミニ研修 1人1回研修を企画運営し、振り返る。 研修時間は約30分程度 受け身中心から発信する力がついたような気がする。
新採用支援について、このエリアでは支援に関する計画等が特になく、グループ長の裁量に任せられていることがあったため、グループの新採用以外の全事務職員が対応し、計画的に複数で訪問支援を行えるよう計画を作成した。（まだ試行段階） また、訪問記録を作成し、情報共有を行ったり、Googleミートを活用した支援も行う予定で、新採用者の支援をグループ全体で取り組めるように行っていきたい。
学校訪問（未配置校支援、新採用者支援）、副グループ長との業務負担
予算要望に向け、教育委員会の説明会を教頭会と合同で開催し、情報を共有できたこと
エリアで事務だよりの一部をエリアで分担して作成することにより事務改善が図られた。 エリアで事務処理マニュアルを共有して、情報共有が図られた。
業務回数を柔軟に変更したこと：今年度市外転入者が多く、グループ運営委員長である校長と相談し、年度当初の回数を予定よりも倍近く増やし対応した。シンプルではありますが、かっちりと業務計画が作られている市町村ではなかなか出来ないことであり、ある程度の柔軟性を前提に進めることを市教委や管理職が理解してくれている当市だからこそ出来る取り組みだと考えています。
・未納者対応ガイドライン完成 ・事務決裁規程の整備 ・教材備品の基準額見直し（1万円→5万円）
司会を輪番制にしたことで、情報交換等活発になった。
手当支給状況確認（給与照合表・支給明細書との突合）
教頭事務合同研修会で、教頭先生との連携を深めることができた。
グループ内研修(業務前事前確認・文書読み合わせ等)の講師を全員が担当することで知識と経験の蓄積を図った。
グループ内学校訪問。訪問校の課題解決協議時間を設け、全員で意見交換することで、解決の手立てを見つける一助とできた。
事務職員不在時のグループ内共通の危機管理マニュアルの作成
毎回のレジュメ、記録と計画の連結をすることで負担軽減につながった。
・通知文書の読み合わせを行った。
各校における課題解決支援のための学校訪問を実施。職員向けの研修を企画運営した。研修資料の作成を通し、事務職員自身の企画力や運営力の向上につながった。
学校預り金の保護者負担軽減に向けての情報共有、支援
学校訪問をグループ内全校で行っている。訪問校の事務職員の実践を共有する場となっており、他校の実践を聞くことで自校の取組を見直したり、改善したりすることができている。
共同実施で旅費の点検をしているが、その後にスムーズに提出しており、教育事務所から遅れが少ないと教えていただいたので、成果はあると思う。
市内の他グループ等での取組を発信したことにより積極的な発言や提案が増えた
グループ内職員へ管理事務部アンケート（一斉同一アンケートの実施、次年度の管理事務部の観点・改善点の確認）※R1にはすでに実施
通知文書の読み合わせ、毎月の業務内容確認
新採用事務職員研修（計画作成、研修資料準備、研修の実施）R6新採用
①業務分担の明確化　②評価項目を各担当自身が提案、毎回情報交換の時間を最初に取りタイムリーに課題解決し、課題の未解決時間を短くすることで多忙感解消　③学校訪問を活用し各校の課題を一緒に考え解決する
保護者負担軽減の観点から、教材選定についての情報交換を行い、教材費で購入しているもの、市会計で購入するものについて各校の状況を共有した。小・中で購入するものを揃えたり、支出元を揃えることで保護者負担軽減や子どもが教材を使いやすくなることが見込まれる。

設問8　共同実施の問題点や課題について、該当するものがありましたら、選択してください。（複数選択可）

問題点・課題	H30		R1		R2		R3		R4		R5		**R6**		比較
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	**回答数**	**%**	増減
共同実施で行う業務内容の精選	43	55.1%	54	70.1%	54	73.0%	51	70.8%	49	69.0%	43	66.2%	**37**	**56.9%**	−9.2%
新採用者等経験の浅い学校事務職員や臨時的任用職への指導のあり方	57	73.1%	56	72.7%	53	71.6%	47	65.3%	49	69.0%	37	56.9%	**39**	**60.0%**	3.1%
学校規模による事務量や繁忙度の格差を是正するためのグループ内担当分掌の見直し	27	34.6%	24	31.2%	24	32.4%	24	33.3%	24	33.8%	11	16.9%	**11**	**16.9%**	0.0%
市町村教委との連携による標準化したシステムの構築	35	44.9%	33	42.9%	31	41.9%	34	47.2%	29	40.8%	24	36.9%	**27**	**41.5%**	4.6%
地域の学校間連携の事務拠点としての役割	20	25.6%	23	29.9%	26	35.1%	28	38.9%	24	33.8%	14	21.5%	**13**	**20.0%**	−1.5%

その他（記述）
新採用者支援については、自校の事務処理も行いつつ支援しなければならないため負担が大きい。
規模が大きい学校で職員数も多い学校が基幹校で、業務が多い中でグループ長を行っている学校が多い。基幹校の配慮が必要だと思う。管理職や職員の共同実施への理解（興味）がないように感じることがある。
共同実施で点検を受けたという安心感、依存感を持たないでほしい。あくまでも、自校の職員の手続き、自校の児童生徒の手続きという自覚をもってほしい。
グループ長の負担軽減や手当等の創設
共同実施の負担感

事務職員未配置校への支援の在り方、事務職員の年齢構成、グループ長の負担
組織としてというより、事務職員としての力量を高めてもらわない限り、今後はないと感じている。どう促したら考えてもらえるか方法を教えてほしい。
共同実施場所の環境整備がされていない（パソコン・プリンターなど）ため、共同実施では情報交換・点検・打合せ・研修位しかできず、作業ができないため、大規模校の支援がほとんどできていない。
他者を攻撃・流言流布する、ミスや業務をしないことを誤魔化す等の個別対応
人事異動で、その年のグループの構成員によって毎年度業務が大きく変わりすぎる点。事務職員の未配置校。
基礎基本の定着と事務処理の適正化

設問9　設問8の問題点や課題に対して、取り組んでいる（取り組む予定の）改善策がありましたら具体的にお聞かせください。

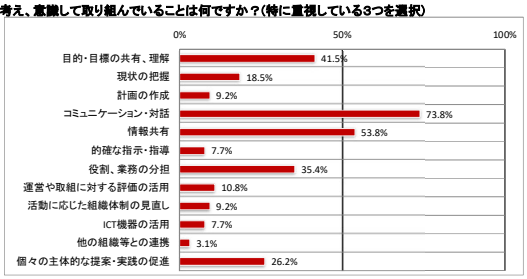
問7で記述したとおり。
今のところ考えていません。
総括事務主幹を主軸とした、他機関へのアプローチ。
定期的に業務計画の見直しを行っている。
当市で共同実施も含めた組織の見直し等について、特設委員会を設置し、検討をしている。
意識に差があり、どうしたら良いのか悩む
共同実施業務班の再編制及び評価方法の見直し
新採用はいないが、今後のことを見据えて市町村会計業務の簡易マニュアルを作成予定
校務支援システム導入に伴う市教委との事務処理についての情報共有
総括事務主幹と連携して支援を行っている
R7年度からの業務班の編成見直し 研修班を設けずに共同実施日の業務に組み込むことで、OJTの推進。個々の責任感の育成。
実施回数の調整（最低月2回は確保。3回目実施は業務内容による）
学校事務処理方法の標準化、不測の事態にも対応できるような支援体制整備の推進
グループ内の活動として、業務中間検討を行い、後期・次年度以降に取り組めることを洗い出し、できることから取り組んでいる。
市として特設委員会を設置して検討する。
中間評価を実施
見直し・改善を図った、共同実施経営計画、目標や組織、業務の実行と評価・検証
共同実施終了後等に個別に話を聞き攻撃に向かう前にストレスを緩和したり、攻撃したくなったときはグループ長にするよう仕向けておく。失敗したことを責めることはせず、寄り添いながら修正し今後どうしたらいいかを一緒に話し合う等、共同実施を安心安全な場であるよう努める。
事務処理状況の確認のための学校視察

設問10　人財育成（学校事務職員の育成）を行うためにグループ内で工夫をしていることを、具体的にお聞かせください。

業務担当の設定
毎回必ず情報共有の場を設けている。どんな些細な事でもいいから疑問に感じたことや悩んでいること困っていることを気楽に話せるような場になるよう心掛けている。抱えているものが解決すれば次に進めるし、他校の実践等を聞くことによって自身の業務改善、資質向上につながると思う。
担当者の設定、分担
話しやすい環境を生み、主体性を持って研修を企画運営してもらっている。
新採用研修の担当割振り、共同実施の運営・記録の分担
フレンドリーな対応
共同実施では、業務や研修など担当者が企画運営する。新採用支援は計画を立てて、複数体制で行う。副グループ長にスケジュール管理を任せている。
グループ内の専門部員に説明する機会を設ける
業務担当の設定及び分担、各種研修の企画・運営、グループ内学校の管理職や地教委との連携例
グループ内の役割分担、月毎の進行分担
個にあったステップアップができるよう、適切に業務を割り振る。
1人1担当（総務・情報・人事・財務）
各種研修の企画・運営
グループ内OJT
担当業務の分担
全員で業務を分担することにより、若手事務職員も自分事としてとらえてもらい、積極的に業務に参加する。 市教委事務指導員と連携を密にし、共同実施活動に生かす。また、該当校の管理職と連携し情報交換を行い人材育成に生かす。
記録、進行等の日常の業務は全員が順番に担当し、負担が偏らないようにするとともに、主体性を持つようにしている。
業務担当の設定、分担
業務担当の分担
担当業務を決め、各自が活動を推進する
班ごとの業務担当の設定及び分担、各種研修の企画・運営
担当制による運営だけでなく、全員で定期的に共同実施グループ運営にかかわる話し合いを行い、メンバーから出た改善点等を可能な範囲ですぐに取り入れている。
・毎回の共同実施の計画・進行・記録 ・教頭との合同研修会の企画運営 ・未配置校支援として未配置校との連携
業務担当の設定及び分担
・業務改善の実践例を共有する時間を設定し、新たな気づきから、次の実践につなげる。他校の実践から、若手事務職員でも取り組めるようにする。 ・共同実施の研修を業務班に担当させ、若手にも研修の企画運営を経験させる。班長にはミドルリーダーとしての経験を積ませる。
グループ内で定期的に研修を行う
業務担当を割り振っている
若手や臨時職員の支援等を全員で行う。
（他市と合同で業務班編成が行われていることを前提に） 研修班に採用2校目までの若手も編成することで、研修の企画運営へ参画する。
業務担当の設定及び分担　　各種研修の企画・運営
業務担当者の設定及び分担（ある程度は任せる）、1人1研修担当（話す力・伝え方を重点）
・役割の分担・各種研修の企画や運営
情報交換、取組発表など発言の機会の確保と雰囲気づくり
業務担当の分担
研修の企画・運営。業務終了後の情報交換・共有（日頃の業務で困っていること、確認したいことを中心に）。
毎回の共同実施の運営を輪番で全員が担当 一人一研修の企画・実施
それぞれに責任ある業務役割を分担する。
・業務担当の設定 ・共同実施の司会と記録を順番にしてもらう。
業務分担の設定、各種研修の企画・運営、各校の課題解決の取組と自己申告シート取組をリンクできるようキャリア研修を実施
業務担当の分担、一人一研修等研修機会の確保
業務担当の設定および分担。業務担当ごとに研修の企画運営。
業務担当の設定及び分担
業務の進め方については、担当に任せている。 学校訪問時に、訪問校の校長と懇談の時間を取り、事務職員についても情報交換をしている。
領域別にグループ分けして、業務分担し、業務の際に中心になって動いてもらっている。 ただ役割をお願いし、行ってもらっても育成にはほど遠いと感じている。担当した領域を変更する際に、資料が残っていないからどうしたらいいかわからないと話があったりして、臨機応変にグループ内であるにも関わらず、対応できない。どのような方法があるか教えてほしい。
興味のあることや得意分野について聞き取りをしながら業務担当の設定及び分担を行なった 各種研修の企画・運営をグループ長ではなく業務担当が主導で行う機会を増やした
業務担当の設定（役割の持たせ方）
業務担当の設定及び分担
業務分担や役割の明確化、各種研修の企画・運営の分担・明確化、教頭会との合同研修会の実施
業務計画や報告の作成、業務日の進行や記録を持ち回りで担当している
業務担当の設定および分担
・各業務班長を中心とした、業務・活動の運営 ・主事・主任による実務研修の企画・運営（講師役）
プロジェクトリーダーに主任を充て、業務計画・運営等を担ってもらっている。
業務担当の設定及び分担、業務担当による各種研修企画運営・評価項目・考察・改善案作成、共同実施の進行・記録を輪番で行う
業務内容の設定および分担
業務担当の設定及び分担、各種研修の企画・運営
各種研修の企画・グループ業務の分担
各担当から企画を計画してもらっている。

設問11　グループ長として、自身の共同実施グループを活性化させ、活動や取組を効果的なものにするために、重要だと考え、意識して取り組んでいることは何ですか？（特に重視している3つを選択）

取り組み事項	R5		R6		比較
	回答数	%	回答数	%	増減
目的・目標の共有、理解	31	47.7%	27	41.5%	−6.2%
現状の把握	14	21.5%	12	18.5%	−3.1%
計画の作成	5	7.7%	6	9.2%	1.5%
コミュニケーション・対話	41	63.1%	48	73.8%	10.8%
情報共有	36	55.4%	35	53.8%	−1.5%
的確な指示・指導	6	9.2%	5	7.7%	−1.5%
役割、業務の分担	23	35.4%	23	35.4%	0.0%
運営や取組に対する評価の活用	8	12.3%	7	10.8%	−1.5%
活動に応じた組織体制の見直し	5	7.7%	6	9.2%	1.5%
ICT機器の活用	0	0.0%	5	7.7%	7.7%
他の組織等との連携	7	10.8%	2	3.1%	−7.7%
個々の主体的な提案・実践の促進	17	26.2%	17	26.2%	0.0%



その他（記述）
問10で記述したとおり。
ボトムアップ：共同実施の改善や取組内容の提案等、メンバー個々の意見を生かしたグループ運営。声を出しやすい環境づくり。
取り組みたいが方法がわからない個人の力量を高めること。

設問12　設問11で重要と考えていることについて、具体的にどのような取り組みをしているか記入してください。（記述）

問10で記述したとおり。
重要だとは思っているが、具体的な取り組みは行っていない。情報共有や現状確認のために話をふるくらい。
グループ連絡会議の内容を迅速に伝達し、グループ内で共有している。
共同実施の度に必ず情報共有の時間を設けている。
豊かなコミュニケーション
運営委員会の資料検討の際に共同実施の目標・目的の共通理解を図っている。 グループ連絡会議の情報をなるべく多くグループ員に伝え、取り巻いている状況を共有するようにしている。
グループ長の学校に来てもらって、仕事を見てもらう　改善を見てもらう　お互いにアイディアを出し合う
共同実施の雰囲気を明るく、対話や意見を出しやすくしている。
情報共有及び質問の時間を毎回設定している
困りごとの相談や情報共有
声を出しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
他支部や研修等での情報を共有し知識を増やす
グループ業務では相談しやすい雰囲気づくりに努めている。全員が声を出して、相談や意見が言えるようにし、その中で主体的に関われるような仕組みづくりに努めている。
計画の作成：未配置校への支援が必要なため、早めの計画提示を心掛けている。 コミュニケーション、情報共有：主事層が多いため、困ったことは声に出しやすい雰囲気を心掛けている
毎回、学校間連携の時間を設け、情報交換を図るとともに、各校の実践を共有する機会を設けている。 ICTの活用はタブレットや電子黒板を活用するよう心がけている程度。
質問、相談しやすい雰囲気づくり
人数が少ないので、業務分担を行ってそれぞれ年間計画に沿ってうごいている。
通知を読み合わせ、正確な事務処理が行えるようにする
前期・後期による評価を活用して話し合いを行い、意見を共有して後期や次年度の計画に繋げている。この他に今年度より共同実施で管理事務部経営計画評価を実施してその結果を踏まえて前期・後期の評価とともに次年度の計画に繋げる。
年度当初に、グループ長として共同実施をどのように進めていきたいか、目的を共有することを大切にしている。また、目的達成のためには必要に応じて市教委や校長と常に相談して、しくみを変えることも辞さない姿勢でグループ経営を行っている。
・年度末評価を基に、学期末にも中間評価を行い振り返りをした ・コミュニケーションをとることで話しやすい雰囲気づくり
共同実施評価を基に、全員で次年度の共同実施について協議する時間を設定する。業務内容や、組織体制について全員で協議する。
共同実施の最後に疑問に思っていることを共有できる時間を確保している
情報交換の時間では、小さな困りごとでも何でも誰でも話せる雰囲気を大事にしている。
昨年度赴任し、本年度から急にG長になったことで、共同実施の流れが全く分かっていないことに気づいた。そこで本年度は、情報共有の観点からG長・副G長・業務班長の会議に、それ以外のメンバーが輪番で記録者として参加している。
一人一人の意志を大切にしてよく話し合い、グループとしてベクトルを合わせる。
活動を始めるにあたり、何のためにやるのかをはっきりさせる。そうでないと効果が薄いと思われる。
何でも聞ける、そして互いに学び合えるような環境、メンバー同士の雰囲気づくり。
共同実施の場が堅苦しくなりすぎず、ゆるくなりすぎないよう声をかけ、話をだしやすい雰囲気づくりを心掛けている。
業務の最初に情報交換の時間を設定して、個々の悩みや仕事の疑問等を解決できるようにしている。一人職の不安を共同実施で解消。
毎回情報共有の時間を設ける。
・情報交換の時間をなるべくとるようにしている。
業務分担により業務を企画・運営を行ってもらう
毎回、情報交換の時間を設け、質問や発言をしやすい雰囲気を作る
何でも話しやすい雰囲気づくり。失敗談の共有。個々への声掛け。
話しやすい雰囲気づくりや、全員に声をかけたり相談したりすることを心がけている。
毎回必ず質疑応答や情報交換ができる時間をとっている
若手が多いので役割分担はしっかり仕分けています。
業務日に情報交換の時間を大切にしたいと考えている。（ただし、なかなか時間を確保できずにいる。）こちらで持っている情報はできるだけ共有する。
毎回、情報交換の時間を設けることで、最新の情報を共有することで、気づきや改善につながっている。
定期的に班長会を行いながら、各班で行う業務・活動について、目的・目標を確認し、班長及び担当事務職員が主体的に企画・運営・実践できるようにしている。
・個々の主体的な提案・実践の促進について、半数のグループ員に割り当てて実践紹介の時間を設けている。また、全員から、各自の取り組み（行事等へのかかわりなど）についてまとめたものを集約し、年度末に紹介する。
目的・目標やゴールイメージを丁寧に説明する。全員が何かしらの役割を負うよう分担を工夫する。特殊な事例があった際には共同実施の情報交換の場で全員に紹介するよう依頼し、紹介してくれた時はみんなで成果を称賛する。
困っていることや課題を共同実施の場で出しやすい雰囲気づくり
話やすい雰囲気づくり、共同実施活動場所に給与システムに繋がるPCを用意する、分担をはっきりさせ担当者が準備をする
月の業務スケジュールを作成し、業務内容や〆切を共有している

設問13　グループで活動するにあたり、グループ員に特に意識して行ってほしいことがあれば記入してください。（記述）

自己研鑽
困ったことなどあればすぐに何でも話せるグループ内の誰かに連絡できるようになってほしい。（今は皆さんそうしてくださっていますが…）
主体的な発言
活動に参加するにあたって主体的に参加してほしい。
主体性を持って、課題に気付き、それに対応すること
共同実施をつらいものだと思わないように意識している
言われたことや決まったことをやるだけでなく、自ら共同実施を活用してやってみたいことを発信してほしい。
積極的に共同実施に参加すること
資質向上を図る意欲を持つこと
自分の考えを発信できる。 相手の考えや意見を引き出せるようになる。 組織を円滑に運営できる。
1つ1つの業務の意義
共同実施がすべての責任を負うものではない。まずは自校分の書類を自身で責任をもって点検してから持参すること。
主体的な関わり
自分の学校のことは自分で行うのが基本。共同実施に積極的にかかわる。
主体的に考え、次年度に向けて改善を図ること。
皆さんとても積極的に動いているのでありがたいです。
共同実施活動に、積極的に関わってほしい
対話による業務への積極的な取組
グループ長や年長者の発言をすべて「是」と思わないような感覚で参画してほしい。アップデートしていく上で、新たな情報を活用する点で、経験が浅い方のほうが吸収率が高い。若いからできることもたくさんある、という意識で提言していってほしい。そのためにも、私自身は自分の価値観を押し付けないように最大限の注意をしていかなければならないと感じている、取り組んでいるつもりである。
まず自分で調べることを意識してもらいたい
共同実施について、一人一人が考える。主体性。
疑問に思っていることなどを共同実施の場で話題にだすこと
毎週ある共同実施をもっと活用してほしい。
自分が持っている意見やアイディアを声に出して、みんなでよりよい方法を考えようという前向きなスタンス

自分の担当業務は責任をもって計画立案できるようになって欲しい。
・主体的な提案や実践
共同実施活動のために主体的に行動する意識
業務に対する基本的な姿勢（法令・規則等で根拠を確認するなど）を意識してほしい。
構えることなく、自分の考えを積極的に発言してほしい。
思っていることは遠慮せずに発言してほしい。
分担業務のみではなく、提案や各校の取組の共有を行ってほしい
主体性を持つ
積極的な声掛けやかかわりを大切に、主体的にかかわってほしい
一人一人が、グループをよくしていく、活動を有意義なものにしていくという意識をもって参加してほしい。
個々の力をつけてほしいこと。自校での仕事をしっかりやること。職員とコミュニケーションを取ること。
主体的に考え動くこと 疑問や改善すべきと感じたことをそのままにしないこと
実施する項目には意味があることへの理解。次年度を見据え、現時点の活動の実施及び改善案の考察を大事にすること。
自主性
1市1グループの特性を強みと考え、自校だけでなく、市（グループ全体）の課題を自分事として捉え、課題解決に臨む意識をもって、共同実施の活動を考え、実践してほしい。
どんなことでもいいので、気づいたことがあれば声に出して欲しい。（実践紹介、疑問に思っていること、改善したいことなど）
主体的に取組む（お客様意識を止める）。個人への批判や否定だけするのではなく、提案や改善案をセットで行う。認定等は自身でまず調べ、しっかり確認を行ってから共同実施に提出する。
守秘義務の厳守
共同実施業務に積極的にかかわる意識をもって取り組んでほしい(受け身ではなく)
当事者意識を持つこと。

設問14 「地域の学校間連携の事務拠点」として、共同実施グループで取り組んでいること（取り組む予定）がありましたら、お聞かせください。（記述）

日常の業務に負担感を持つグループ員への協力
備品の貸与や所管替えなどで有効活用を図っている。
教材消耗品の購入取りまとめ。
外部等への問い合わせた内容の情報共有
4中学校区から構成されており、連携した取組は難しいが、グループ運営委員会では地区の教育事務所（市教委）と連携しながら、市の予算執行などで共通理解できるところや情報交換しながら進めている。（他村の学校は難しいが）
情報交換
備品の共同購入や活用
共同実施全体の取組としての実践研修
児童生徒用机椅子の天板等の張替の取りまとめ
預り金に係る困り感の共有、改善への手立ての話し合い。
中学校区単位での情報交換、課題解決に向けた取組
・地域人材資料の収集
児童生徒用机椅子の天板等の張替の取りまとめ
・児童の机椅子の修理会場の取りまとめ　・コミュニティスクールの事務局（校区別）
・市教委と連携して、公費私費負担区分についての再確認と新たな物品についての負担区分の明確化を行いたい。
学園予算の情報交換・共通理解の時間を設定、不用品の交換・譲渡情報提供
物品の共同発注。 児童生徒用机椅子の天板等の張替の取りまとめ。 来年度統合する学校の事務作業の確認、情報交換等。

設問15 子どもの貧困対策としての取組内容がありましたら、お聞かせください。（記述）

学校預り金滞納家庭で、小と中どちらにもお子さんがいる場合、情報を常に共有している。
就学援助制度の理解と未納対応についての確認を行っている。
就学援助認定家庭や預り金滞納家庭の中学校区ごとの情報共有。
滞納者への個別面談の実施により、就学支援制度や児童手当の委任について丁寧に説明を行っている。
未納対策について、学校長委任や児童手当からの申出徴収を小中で連携を行い、兄弟間で情報共有を行っている。
学校預り金滞納の場合の就学援助費の学校長委任や児童手当からの申出徴収を行っている。
・学校預り金滞納の場合の就学援助費の学校長委任や児童手当からの申出徴収を市教委と連携して行っている。
学校預り金滞納家庭の小中の情報共有。就学援助費の学校長委任や児童手当からの申出徴収を市教委と連携して行っている。
学校預り金の未納が続いている家庭については市教委から納入通知書を発送している。また、学校長委任や児童手当からの申出徴収は市教委と連携して行っている。
・中学校区で就学援助申請の様子を情報交換した。 ・預り金について情報交換し、保護者の負担の状況を検討した。
預かり金未納状況に応じて就学援助委任を教育委員会と連携して行っている。
就学援助の申請を忘れていると思われる家庭に、申請もれのないように働きかける
市教委と情報共有し、連携して事務処理を行っている。
・未納ガイドラインを作成し、就学援助の代理受領や児童手当からの徴収、未納が続く家庭への市教委との連携について検討中
・就学援助費の学校長委任、児童手当からの特別徴収を市教委、こども支援課と連携して行っている。
学校預り金滞納の場合の就学援助費の学校長委任や児童手当からの申出徴収を市教委と連携して行っている
預り金滞家庭の就学援助費の学校長委任や、児童手当からの申出徴収を教育委員会と連携して行っている。 教育委員会のDX化に伴い、紙ベースの副教材の削減。
学校預り金滞納の場合の就学援助費の学校長委任や児童手当からの申出徴収を市教委と連携して行っている。
・要保護世帯の未納対応を、教育委員会や福祉課と連携し取り組んだ。
学校預り金共通理解事項を作成し、同歩調で動けるような指針となっている。
・学校預り金滞納の場合の就学援助費の学校長委任や児童手当からの申出徴収を市教委と連携して行っている。
・就学援助費の学校長委任や児童手当からの申出徴収を市教委と連携して行っている。
グループ内での学校預り金の保護者負担軽減に向けての情報共有、支援
学校預り金の納入状況について、中学校区単位で情報交換を行い、連携して保護者へ働きかけを行っている。
学校預り金の未納状況等の定期的な情報交換と効果的な方策の共有
学校預り金滞納の場合の就学援助費の学校長委任や児童手当からの申出徴収を市教委と連携して行っている。
・就学援助制度の学期別配信（保護者連絡アプリを使って市教委から一斉配信）　・預り金未納者への徴収対応（児童手当からの徴収対応）
就学援助制度のお知らせ、学校預り金滞納の場合の就学援助費の学校長委任や児童手当からの申出徴収を市教委と連携して行っている。
・教頭会と合同で、就学支援（生活保護制度、就学援助、特別支援教育就学奨励費）について、市の担当者を講師に研修会を実施した。 ・「預り金未納対応ガイドライン」作成に向けて、市教委と話し合いを行った。 ・就学援助費の学校長委任や児童手当からの申出徴収を市教委と連携して行っている。
学校預り金滞納の場合の督促・面談を市教委と連携して行っている。
教材選定についての情報交換

設問16 共同実施を進めていく上で、提供してほしい情報がありましたら、お聞かせください。（記述）

新採用事務職員への支援
共同実施でやる最低限必要な業務の明確化。（全県的に共通であるとさらにありがたい。）プラスアルファを各支部やグループで自由にデザインできると思うので。
共同実施がはじまってから他市町村に異動したことがなくどのように共同実施を行っているのか知りたい。年間の計画や業務内容、記録を作成の有無、運営委員会の構成員等々
活動計画
エリアが市町村の異なるグループで構成されていて、総括事務主幹が他市町村に配置されている場合の総括事務主幹の役割と関わり方。共同実施組織の数が少ない分動きやすいと思いきや、連携しなければ多いところが多すぎて、本来、同一市内に総括事務主幹が配置されていれば総括が行うべき仕事についての連絡調整を行うことになっている。他のエリアではどのように進めているのか、お聞きしたい。
新採用事務職員や未配置校支援の支援計画や記録などがあれば提供してほしい。
ミニ研修の内容。ミニ研修を行っているグループがあると思うが、どんな内容を、どれくらいの頻度で、どんなふうに実施しているのか教えてほしい。
共同実施評価について、他市町村の様子を教えて欲しい
グループ長業務や共同実施業務の負担感の軽減の好事例をぜひ知りたいです
各種の研修資料を収集できるとありがたい。
校務支援システムの徴収金システムの導入について。
他グループの共同実施業務内容や取組成果
経営計画、業務割り振りなど、他市町村グループの運営に関する情報
他エリアがどんな活動をしているのか、情報交換できる場があるとよいと思う。
何度も記入して申し訳ないですが、個人の力量の高め方。
他市町村の共同実施での具体的な好事例や取組
・各支部・グループで作成された資料等、共有できるものがあればいただきたい。
・グランドデザインや年次計画があれば、参考にさせていただきたい。 ・他グループの共同実施業務内容
新採用や事務員への研修資料（項目のみでなく、具体的な内容があるもの）
他グループ、他市町村の活動取組の好事例を知りたいです。
全県または下越管内での事務処理方法の共有・統一（命令簿の記入の仕方、児童手当受給者台帳の記入の仕方）
各支部の取組が知りたい。それぞれが活き活きと共同実施で活動する取組を知りたい。

設問17　その他に何かありましたら、入力してください。（記述）

・グループ長に対する業務負担軽減対策を行っている市町村はあるか（SSSの配置など） ・グループ長業務と時間外勤務手当の関係性はあるか（グループ長をすることにより増えた、など） ・新事研のリーダー研修会の内容を知りたい。（主任のグループ長は対象外のため）
県内全地域事務室長に事務主幹が配置されるようにしてほしい。総括事務主幹を増員し担当エリアを細分化してほしい。
改めて考えてみたときに設問に対して記述できるようなことがなく、反省しています。